

空調設備更新工事

仕様書

社会福祉法人 恩賜  
財団 済生会支部

福岡県済生会大牟田病院

令和 5 年 4 月

# 仕 様 書

## 1. 【工事名称】

福岡県済生会大牟田病院空調設備更新工事

## 2. 【工事概要】

①工事住所 福岡県大牟田市田隈 8 1 0

②建物概要 RC 造 地上 7 階

## 3. 【工事種目】

空調設備更新工事

## 4. 【工事目的】

今回の目的は福岡県済生会大牟田病院の空調設備で特に経過年数が長い老朽化した空調設備、又 2020 年、R22 冷媒ガスの廃止に伴い猛暑時に故障対応が不可能になる可能性を想定して事前に空調設備更新工事を実施してさらに病院全体の省エネ効果も向上させる事を目的として行うものとする。

## 5. 【工事期間】

契約締結後 から 2023 年 11 月 30 日 まで

## 6. 【一般事項】

- ①本工事は、本仕様書に基づき、又、関係法規、条例等に従い施工すること。
- ②本工事において、本仕様書に明記なくとも技術上、施工上必要と認められるものは担当職員と協議の上施工すること。
- ③工事に伴う機器の運転停止及び完了後試運転は、原則として担当職員の立会いのもと実施する。本工事中、新たに発生した故障及び不具合については、別途協議とする。
- ④作業開始前には、必ず工事責任者による作業教育（各作業員に対し、作業内容及び労働基準法・労働安全衛生法その他関係法令に定める諸規則の説明と打ち合わせ）を行い、その厳守と共に安全管理に万全を期すこと。
- ⑤工事に伴い発生する廃棄物については、廃棄物処理法に基づき、適正処理を行うこと。
- ⑥工事完成後、原則として担当職員立会いのもとに試運転を実施し、異常が無い事を確認の上、引き渡し完了とする。
- ⑦本工事の保証期間は 引き渡し後 1 ヶ年とし、保証期間中に本工事上の不備によって生じた故障に対しては無償にて部品交換を実施すること。
- ⑧作業日時は、原則として、午前 9 時 0 0 分～午後 5 時 0 0 分までとする。  
ただし、室内で大きな音を伴う作業の他、この日時や時間帯での作業が不適切と思われる場合は、当院担当職員と協議の上、日時を調整すること。
- ⑨本工事期間中、患者及び当院職員への安全対策を十分に講ずること。

## 7. 【工事内容】

### 〈1 階、MAC-23 医事課系統〉

|                                    |     |
|------------------------------------|-----|
| ・ビル用マルチエアコン室外機 15 馬力相当             | 1 台 |
| ・ビル用マルチエアコン室内機                     | 6 台 |
| ・全熱交換機 天井埋込型 350 m <sup>3</sup> /A | 1 台 |

### 〈2 階、MAC-24 地域連携室系統〉

|                        |     |
|------------------------|-----|
| ・ビル用マルチエアコン室外機 10 馬力相当 | 1 台 |
| ・ビル用マルチエアコン室内機         | 4 台 |

### 〈2 階、MAC-26 事務室系統〉

|                        |      |
|------------------------|------|
| ・ビル用マルチエアコン室外機 24 馬力相当 | 1 台  |
| ・ビル用マルチエアコン室内機         | 11 台 |

### 〈3 階、MAC28ME 室系統〉

|                       |           |
|-----------------------|-----------|
| ・ビル用マルチエアコン室外機 8 馬力相当 | 1 台       |
| ・ビル用マルチエアコン室内機        | 3 台(又は4台) |

室外機能力内にて、各部屋に必要な能力増強、又は増設を検討すること。

### 〈3 階、MAC30 大会議室系統〉

|                        |     |
|------------------------|-----|
| ・ビル用マルチエアコン室外機 15 馬力相当 | 1 台 |
| ・ビル用マルチエアコン室内機         | 5 台 |

### 〈6、7 階 MAC12 ナースステーション系統〉

|                        |      |
|------------------------|------|
| ・ビル用マルチエアコン室外機 10 馬力相当 | 1 台  |
| ・ビル用マルチエアコン室内機         | 10 台 |

## \*特記事項

1. 機器は2022年省エネ基準対応機種とする。
2. 室内ユニット設置位置から室外機までの配管ルートなどの詳細については、事前に、現地調査を行い確認すること。
3. 機器の基礎は、既存の基礎を活用する。(防振架台は更新とする。)
4. 既存空調機の室内ユニットおよび室外ユニットについては、全て撤去すること。

## 2) 配管設備工事

①空調配管 既設冷媒配管流用 冷媒断熱用被覆銅管 (メーカー標準仕様)

\*但し既設配管を流用することにより、配管のサイズ違いより空調機的能力ダウンなどの影響がある場合は必要最小限で新設配管とする。

＊屋外配管のラッキングについても既設流用とする。但し冷媒配管施工をするに当たり必要最小限で更新する。（腐食している箇所など）

②空調ドレン配管 既設ドレン配管流用 塩化ビニール管（VP 管）保温共

＊但し既設配管を流用するに当っては、既設ドレン配管の適正サイズ及び配管の勾配を考慮してスムーズに排水されるか確認の上、接続する。

③空調電源設備 既設電源流用 既設電源配管・配線・

＊但し空調機を最新省エネ機器に更新した際に、漏電ブレーカー及び電気配線の変更が必要な場合は幹線計算により容量確認を行い変更する。

④空調制御設備

＊既設空調制御及び空調デマンドシステムを確認の上、更新後も現行通りか現行以上のシステムを維持する事。